

事務事業名 追悼式事業

出力日：令和06年03月18日

キーコード：245

施策：	15	地域福祉の推進	財務コード	01030106-01-193
基本事業：	99	施策の総合推進	担当部	健康福祉部
基本事業の 成果指標			担当課	生活福祉課
			担当係	地域福祉担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
戦没者遺族			市主催の戦没者追悼式を行う。戦没者を慰霊するとともに、戦争の記憶を風化させることなく、平和と命の大切さ、戦争の悲惨さを次の世代に語り継ぎ、二度と戦争を起こさない平和活動の啓発をおこなう。 追悼式は、祭壇、献花台の設置等の委託契約事務、筑紫野市遺族会、来賓などに案内状の送付などの事務を行う。						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
戦没者の遺族の心中を察し、追悼式を行うとともに、平和と命の大切さ、戦争の悲惨さを次の世代に語り継ぎ、二度と戦争を起こさない誓いをたてる。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	03年度 実績	04年度 実績	05年度 当初	06年度 要求	07年度 計画	08年度 計画	目標
遺族出席者		人	0	43	140	140			140
遺族者会の会員数		人	319	302	319	302			470
5. コスト									
事業費		計	千円	27	496	644	717		
		国	千円		0	0	0		
		県	千円		0	10	18		
		地方債	千円		0	0	0		
		その他	千円	10	10	10	10		
一般	千円	17	486	624	689				
正職員人工数		人工	0.05	0.15	0.18	0.18			
正職員人件費		千円	396	1,159	1,407				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	423	1,655	2,051	717			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		追悼式への遺族出席者数は、令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため参加者を限定し、規模を縮小して開催したため参加者が減少している。 また、遺族者会の会員数については、会員の高齢化のため減少している。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	減少	類似事業	なし	遺族の高齢化が進んでいる。					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は小	業務推進課題	なし						
成果向上余地	小さい								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了	
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）									
この事業がいつから開始されたかは不明であるが、過去は春に遺族会主催で、秋に市主催の慰霊祭が開催されていた。遺族会主催での慰霊祭の開催が困難となり、秋の市主催の追悼式のみとなった。				備考・特記事項 or 進行管理欄					